1. **バリアフリーの推進**
2. **バリアフリー教室の開催**

高齢者や障害者の疑似体験や介助体験を通じ、バリアフリーへの理解を深めるとともに、ボランティア意識を醸成し、誰もが高齢者や障害者に対して「お手伝いしましょうか」と自然に声をかけて快くサポートできる「心のバリアフリー」を推進するため、「バリアフリー教室」を開催している。

令和４年度は、第５表のとおり実施した。

第５表　バリアフリー教室開催実績（令和４年度）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開催場所 | 開催日 | 参加者 |
| 姫路市立坊勢中学校 | ９月　２日 | １、２年生３２名 |
| 姫路市立神南中学校 | ９月　６日　９月２７日 | １年生５７名 |
| しあわせの村 | １０月　２日 | イベント来場者約２００名 |
| 姫路市立船場小学校  （近畿運輸局と共催） | １１月２４日 | ４年生６６名 |

**（2）関係機関との連携**

「移動等円滑化評価会議近畿分科会」

バリアフリー法に基づき、移動等円滑化を促進するため、関係行政機関及び高齢者、障害者等、地方公共団体、施設設置管理者その他の関係者で構成する「移動等円滑化評価会議」が国土交通本省において平成３１年２月に設置された。これを受け、地域のバリアフリー化を推進し、定期的に移動等円滑化の進展の状況を把握・評価するため、近畿分科会が設置され、令和４年６月２８日に「令和４年度移動等円滑化評価会議近畿分科会」を開催した。

　　　「近畿ブロックユニバーサルデザイン推進本部」

　　　　　　東京オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーとしての「真の共生社会の実現」に向け、より障害当事者目線に立ったバリアフリー・ユニバーサルデザイン施策を展開するため、国土交通本省において関係する省内各部局が広く参画する「本省ユニバーサルデザイン推進本部」が令和３年３月２６日に設置された。これを受け、地方部のバリアフリー整備の加速化や基本構想等の策定促進等を図るため、令和３年４月２２日に、近畿ブロックユニバーサル推進本部が設置された。令和４年度は４月に書面にて第２回推進本部会議が開催された。